

以下は、アビリンピックおおさか 2025 における競技課題の様子を知るために参考として公開するものです。

実際の課題ではありませんのでご注意ください。

販売・物流アシスト競技参考課題 指示書

1. 競技課題概要

課題1 輪ゴムを電子はかりで指定された数量分だけ紙コップに入れて計量し、小物用透明袋に入れ、袋のフタ部分のシールテープをはがし、貼り付けます。これを「製品1」とします。輪ゴムの数量、色は後で指示します。

課題2 A3 リーフレットを二つ折りにして A4透明袋に入れ、課題1で作った「製品1」を A4透明袋に同封し、袋のフタ部分のシールテープをはがし、貼り付けます。これを「製品2」とします。

・課題1、2の競技時間中に、スタッフが、「お客様が来られました」「お帰りになります」等の模擬来客の合図を出しますので、元気よく声を出してあいさつをしてください。

・課題説明時は、説明者の方に顔を向けて、よく話を聞いてください。指示された手順により作業を行います。メモを取っても構いません。説明のあとで質問時間を取りますので、質問のある人はその時に質問をしてください。

2. 競技時間

10:00	注意事項、課題1の競技説明 (30分)
10:30	課題1競技開始 (15分)
10:45	休憩 (25分) (課題1の審査)
11:10	課題2競技説明 (10分) の後、競技開始 (15分)
11:35	競技終了

- 課題^{かだい}1の競技^{きやうぎ}の後^{のち}、25分間の休^{ふんかん}憩^{きゅうけい}時間^{じかん}を取ります。

この間にスタッフ^{かん}が課題^{かだい}1の審査^{しんさ}と課題^{かだい}2の資料^{しりよう}の準備^{じゅんび}をします。

- 選手^{せんしゅ}の方は、一度^{かた}この教室^{いちど}から出^{きやうしつ}ていただき、次^でのアナウンス^{つぎ}があるまで隣^{となり}の教室^{きやうしつ}で待機^{たいき}をお願いします。

3. 競技内容

●課題1 (15分) 小物用透明袋 数：15 袋

- ・輪ゴムを電子はかりで指定された数量分だけ紙コップに入れて計量し、小物用透明袋に入れ、袋のフタ部分のシールテープをはがし、貼り付けます。(「製品1」)
- ・袋に入れる輪ゴムの本数は、20本とし、そのうち緑色の輪ゴムを2本入れます。
- ・出来上がった「製品1」は、トレイ2に入れて完了です。
- ・「やめ」の合図の後、輪ゴムの袋詰めまでできた製品がある場合は、封をしていなくても、それもトレイ2に入れます。
- ・トレイ2に入っている「製品1」を採点対象とします。

★注意①：作業前の準備として、電子はかりの初期設定を行います。課題1の競技の開始前に、全体で練習を行います(スタッフの補助があります)。

練習が終わったら、全員の電子はかりの電源を切ります。課題1の競技開始の合図の後に、それぞれ自分で再度電子はかりの初期設定の作業を行ってください(補助が必要な方は、手を挙げてスタッフにお知らせください)。

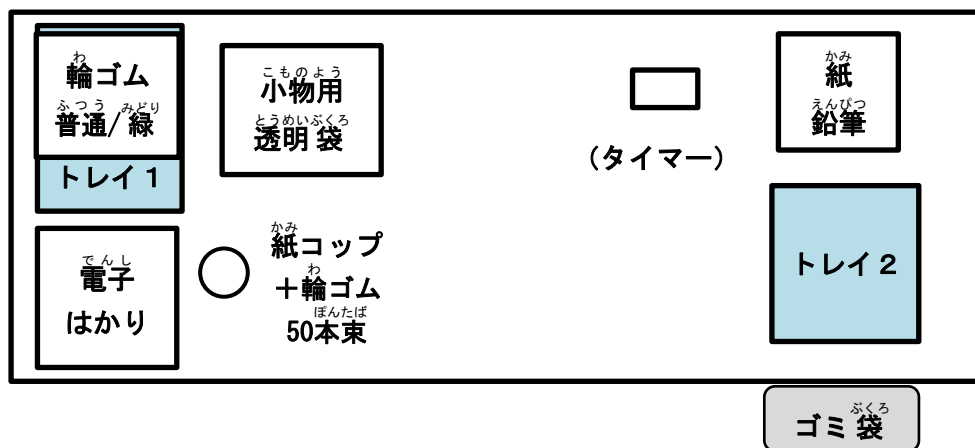
★注意②：輪ゴム20本は必ず、電子はかりで計量してください。それ以外の方法で作業した場合は、採点対象としません。

以下に作業内容を説明します。作業の詳細、注意事項については、添付の手順書を確認してください。

作業項目	作業内容
0. 作業前の準備	<p>・輪ゴムの計量については、輪ゴムを紙コップに入れた状態で計量します。電子はかりの個数計量機能を使って計量するので、指示に従って準備します。</p> <p>→ 手順書 p.1-2</p>
1. 輪ゴムの計量	<p>・初期設定後、電子はかりに紙コップを載せ、電子はかりの表示部分の数字が[20]になるように、輪ゴムを紙コップに入れて計量します(計量するときに、必ず緑の輪ゴムを2本入れてください。)</p> <p>・15袋分を計量してください。</p> <p>→ 手順書 p.3</p>

<p>2. 小物用 透明袋へ 袋詰め</p>	<p>・計量した輪ゴムを小物用透明袋の口を開いて、袋に詰めます。 ・輪ゴムは無理に押し込まず、できるだけよじれないように入れます。</p> <p>→ 手順書 p.3</p>
<p>3. 小物用 透明袋の お返し、 は貼り付け</p>	<p>・袋を裏返し、小さい○の部分で折り返し、フタ部分のシールテープをはがして貼り付けます。 ・出来上がった「製品1」は、トレイ2に入れて完了です。</p> <p>→ 手順書 p.4</p>
<p>4. 作業の 順番、 終了時の 作業等</p>	<p>・一袋ずつ袋詰めし、貼り付けして完成させるか、それぞれの作業をまとめて作業するかは自由です。各自工夫して作業してください。 ・はがしたシールテープは、ゴミ袋に入れ、机の上を整理します。</p>

- ・課題1 机上レイアウト例（変更は自由）



●あいさつについて

- ・課題1、2の競技時間中に、スタッフが、「お客様が来られました」「お帰りになります」等の模擬来客の合図を出しますので、元気よく声を出してあいさつをしてください。課題1、課題2でそれぞれ1回ずつ行います。

①「お客様が来られました」の場合は、手を止めて顔を上げて、お客様の方を向き「いらっしゃいませ」とあいさつをします。

②「お帰りになります」の場合は、手を止めて顔を上げて、お客様の方を向き「ありがとうございました」とあいさつをします。

●タイマーについて

- ・課題1、課題2とも、作業が早く終わった方については、加点があります。
時間内に終わった人は、机の上のゴミをかたづけ、タイマーを止めて、終了合図として手を挙げてください。声は出さないでください。
- ・終了合図をした後は、机の上のものに触れないようにしてください。

タイマーの使い方について説明します。

① タイマーの右端にあるハートマークのシールが貼ってあるボタンがスタートとストップのボタンです。競技開始の合図と同時に、このハートマークのボタンを押してください。一度押すとスタートします。もう一度押すとストップします。

② 星★が付いているボタンは、リセットボタンです。左右同時に押すことで、ゼロに戻すことができます。

●課題2 (15分) A4透明袋数：20袋、製品1：20袋

・課題2で使用する「製品1」は、課題1で作った袋数に関係なく、一律、20袋配布しています。

・A3のリーフレットを二つ折りにします。リーフレットをA4透明袋に入れ、課題1で作った「製品1」をA4透明袋に同封し、袋のフタ部分のシールテープをはがし、貼り付けます。これを「製品2」とします。

・出来上がった「製品2」は、トレイ2に入れて完了です。

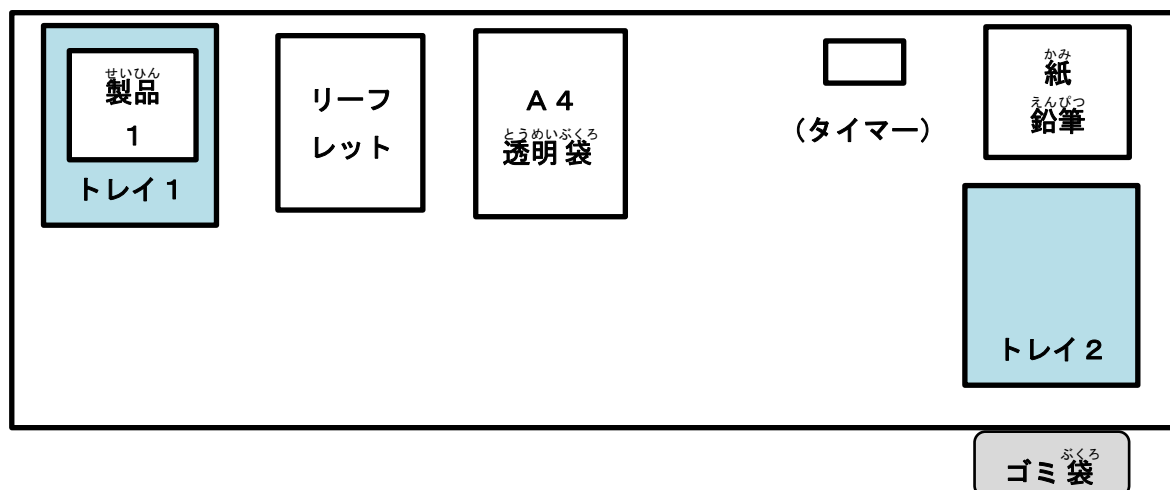
・トレイ2に入っている「製品2」を採点対象とします。

以下に作業内容を説明します。作業の詳細、注意事項については、添付の手順書を確認してください。

作業項目	作業内容
1. A4 透明袋の 封入・封 かん	<ul style="list-style-type: none"> ・A3のリーフレットの左右両端をそろえ、二つ折りにします。 ・リーフレットのA4透明袋への入れ方は、透明袋の表面とリーフレットの表面の向きを合わせて入れます。 ・「製品1」をリーフレットの表面側に、「アビリンピックおおさか」の文字が読めるように向きを整えて入れます。 ・封入口を折り返し、フタ部分のシールテープをはがして貼り付け、「製品2」とします。 ・出来上がった「製品2」は、トレイ2に入れて完了です。 ・はがしたシールテープは、ゴミ袋に入れ、机の上を整理します。



→ 手順書 p.5

・課題2 机上レイアウト例 (変更は自由)





【0. 作業前の準備 電子はかり(デジタルスケール)の初期設定】(課題1)


てじゅん 手順	す 図
<p>0-1. 輪ゴム 50本の束、確認</p> <p>• 輪ゴムを 50本束ねたものがありますので、手元に用意します。(事前準備済み)</p>	
<p>0-2. ゼロ調整</p> <p>• 電子はかりを水平なところに置き、ステンレスの計量皿に何も載っていない状態で、「0」ボタンを押し電源を入れます。液晶画面に[0.00]が表示されるまで待ちます。</p> <p>• 紙コップを計量皿に載せます。紙コップの質量が表示されます。次に「T」ボタンを押すと[0.00]に変わり、紙コップの質量が差し引かれます。</p>	 <p>操作ボタンの配置</p>  <p>0 ボタンを押した後[0.00]表示確認。その後、紙コップを載せ T ボタンを押して[0.00]表示</p>
<p>0-3. 輪ゴム本数計量設定(個数計量機能設定)</p> <p>• 紙コップが空の状態で、表示が[0.00]であることを確認します。</p> <p>• 計量皿に載せた紙コップに項目0-1 で用意した輪ゴム 50本の束を入れます。</p> <p>この時、輪ゴム 50本の質量が表示されます。</p> <p>(右図では、7.40 g の表示)</p> <p>• 「PCS」ボタンを3 秒以上長押しして液晶画面に[50]を表示させます。[50]でない場合は、「M」ボタンを押して[50]を表示させます。</p>	 <p>紙コップに輪ゴム 50本を入れる</p>  <p>PCS ボタンを長押しし、画面に[50]を表示。</p>

てじゅん 手順	す 図
<p>0-3. つづき</p> <ul style="list-style-type: none"> • もう一度「PCS」ボタンを押します。 <small>ひだりはし</small>左端に[PCS]、<small>みぎはし</small>右端に[50]と表示され、<small>ほんすうひょうじ</small>本数表示に変わりました。 • <small>かみ</small>紙コップに<small>わ</small>輪ゴムを1本ずつ入れていき、<small>かす</small>数が増えることを確認します(3本位)。 <p>(注意)この本数計量設定は、<small>わ</small>輪ゴムの計量直前に実施すること。<small>そうさ</small>操作せずに3分間経過すると、オートパワーオフ機能で電源が切れ、<small>き</small>設定もクリアされる。</p>	 <p>[PCS] <small>ひょうじ</small>[50]の表示</p>  <p>+3本で53本の表示</p>



【1. 電子はかり(デジタルスケール)による輪ゴムの計量】(課題1)

てじゅん 手順	す 図
<p>1. 輪ゴムの計量 (20本、15袋分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 計量皿に空の紙コップを載せ、電子はかりの表示部分の数字が[20]になるように、輪ゴムを紙コップに入れて計量します。 計量する時に、必ず緑の輪ゴムを2本入れてください。 計量が終われば、紙コップごと計量皿からおろし、輪ゴムを紙コップから出します。 続けて計量する場合は、空の紙コップを計量皿のうえのわの輪ゴムを計量し、必要な数だけ繰り返しします。 今回は、20本の束を15袋分、計量してください。 	 <p>表示の数字が[20]になるように 輪ゴムを入れる</p>  <p>20本計量の山</p>

【2. 小物用透明袋へ輪ゴムの袋詰め】(課題1)

てじゅん 手順	す 図
<p>2. 輪ゴムの袋詰め</p> <ul style="list-style-type: none"> 透明袋のフタ部分を持ち、口を大きく開け、計量した輪ゴムをまとめて袋に詰めます。 輪ゴムは無理に押し込まず、できるだけよじれないように入れます。 	 <p>◎ 輪ゴムの入れ方</p>

【3. 小物用透明袋の折り返し貼り付け】（課題1）

てじゅん 手順	す 図
<p>3-1. 袋の折り返し</p> <p>• 透明袋を裏返しフタ部分を持ち上げて、<u>左右にある小さいOの部分で折り返します。</u></p> <p>• 折り返したときに中の輪ゴムを一緒に折り曲げないように気を付けます。</p>	 <p>ここで折り曲げる</p> <p>さゆう ちい 左右にある小さいO印が目印</p>
<p>3-2. フタ部分の貼り付け</p> <p>• フタ部分のシールテープをはがして貼り付けます。</p> <p>• この時、折り返し部分や貼り付け部分が曲がったり、しわが寄ったりしないように丁寧に作業をします。また、袋の表側と裏側がずれないように重ね合わせます。</p> <p>• 出来上がった「製品1」は、トレイに入れて完了です。</p> <p>• はがしたテープは、散らからないようにゴミ袋に入れます。</p>	 <p>シールテープをはがして貼り付ける</p> <p>「製品1」 →</p>

【A4透明袋の封入・封かん】（課題2）

てじゅん 手順	す 図
<p>1. リーフレット、透明袋の準備（20袋分）</p> <ul style="list-style-type: none"> • A3 リーフレットの左右両端をそろえて二つ折りにします。 • 二つ折りにしたリーフレットは表面が見えるように置きます。透明袋は、フタのついている方を表にし、封入口が上になるように置きます。 	<p>A3 を二つ折り</p>
<p>2. 透明袋への入れかた</p> <ul style="list-style-type: none"> • リーフレットは、透明袋の表面と向きを合わせて、封入したときにリーフレットの上が封入口側になるように入れます。 • 「製品1」は、袋上部の「アビリンピックおおさか」の文字が読めるように、表向きにして、「製品1」の上が封入口側になるようにリーフレットの表面側に入れます。 	
<p>3. 封のしかた</p> <ul style="list-style-type: none"> • 封入口の折り返しはリーフレットの上端部分に沿って折り返します。 • 封入口を折り返し、フタ部分のシールテープをはがして封をし、「製品2」とします。 • 折り返し部分や貼り付け部分が曲がったり、しわが寄ったりしないように丁寧に作業をします。 • 出来上がった「製品2」は、トレイに入れて完了です。 • はがしたテープは、散らからないようにゴミ袋に入れます。 	